

基本と実務の2つがゆっくり学べる介護福祉科

訓練実施施設名	あずみ福祉カレッジ			
訓練番号	5-07-01-002-05-0611	訓練の種別	()基礎コース・(○)実践コース	
受講者募集期間	令和7年5月1日 (木) ～ 令和7年5月28日 (水)			
訓練概要	介護職への第一歩である介護職員初任者研修・上位資格である介護福祉士実務者研修を履修し、より高い知識・技能を習得する。			
訓練内容	科目		訓練時間	
	就職支援	デジタルツールを活用した職務経歴書、履歴書の作成指導、面接指導、ジョブカード概要説明	18時間	
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間	
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立にむけた介護	9時間	
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多業種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	6時間	
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者総合支援制度およびその他制度	9時間	
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	6時間	
	老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常、高齢者と健康	6時間	
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこととからだの変化と日常生活、家族への支援	6時間	
	障害の理解	障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援の基礎的知識、家族の心理、かかり支援の理解	3時間	
	こととからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方、介護に関するところのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解、生活と家事、快適な居住環境整備と介護、終末期介護	35時間	
	学 振り返り	研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護についての要点、就業への備えと研修修了後における継続的な研修、修了評価	4時間	
	科 社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者総合支援制度、介護実践にかかわる諸制度	30時間	
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全、安全衛生(心身の健康管理、整理整頓など)	21時間	
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	10時間	
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	20時間	
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	20時間	
	障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際	20時間	
	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族への相談援助、介護におけるチームの情報共有化、利用者の機能に応じた技法の選択方法	20時間	
	こととからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、身体づくり	18時間	
	介護過程Ⅱ	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	26時間	
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際	14時間	
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	51時間	
	成績考査	到達度合の評価	7時間	
	実 技	こととからだのしくみと生活支援技術演習	こととからだのしくみと自立に向けた介護(整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠)、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	54時間
		こととからだのしくみⅡ演習	心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	42時間
		介護過程Ⅲ演習	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	34時間
		医療的ケア演習	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習	28時間
	企業実習の有無		有り	77時間
訓練対象者の条件	なし			
訓練目標 (仕上がり像)	介護職員としてのより高い専門性と利用者主体の視点を養い、介護の担い手となる			
訓練期間	令和7年6月16日 (月) ～ 令和7年12月15日 (月)			
訓練時間	9 時 10 分 ～ 16 時 40 分 (6/18、7/1・31、8/12、9/16、10/10、11/6・7・17、12/1・11 は15時30分まで訓練実施 企業実習8/18-22 11/18-28)		放課後、就職支援等を実施する場合があります。 詳しくは、当校までお問い合わせください。	
定員	20名 (受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります)			
自己負担額 (内訳も記載)	教科書代 14,080 円 ※企業実習の実施を11日間予定しており、これに係る交通費が別途発生します。 金額は税込です。		受講料は無料です。	
求職者支援訓練 申込方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。 ②本人がハローワークで受付された受講申込書を「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ持参または郵送により、ご提出ください。			
ハローワーク受付後 の受講申込書 提出先	宛先:あずみ福祉カレッジ 住所:〒063-0812 札幌市西区琴似2条3丁目1-3テオービル3階 TEL番号: (011) 676 - 5858 問い合わせ担当者名:(菅原・宇田川) / 受付時間:(平日 10 : 00 ～ 17 : 00)			

第1ステップ！ 初任者 第2ステップ！ 実務者

基本と実務の2つがゆっくり学べる介護福祉科

基本の「キ」から安心してしっかり学べます!!

最初の2カ月で
介護職の入口となる資格
「介護職員初任者研修」
を取得!

次の4カ月で
介護福祉士の登竜門である
「介護福祉士実務者研修」
を取得!

・企業説明会(任意参加)
・就職支援担当者による
個別就職支援

あなたのニーズにあった職場を探します!

過去1年間に実施した
求職者支援訓練の
雇用保険就職率
(直近3科の平均)

93%

2か月

介護職員
初任者研修

企業実習

4か月

介護福祉士
実務者研修

企業実習

就職支援

職場見学等が
充実したコース

地下鉄から徒歩 3分

JRから徒歩 6分

バス停から徒歩 1分

市内近郊全域から
通える好立地

あずみ福祉カレッジ

修了後に取得できる資格

介護職員初任者研修
介護福祉士実務者研修

認定機関 (ASME株式会社)

認定機関 (ASME株式会社)

選考日時	令和7年6月3日 (火)		1Fのアパマンショップを目印に、中に入ってすぐ左手の階段を3Fまで
持ち物	筆記用具・上靴		
選考結果通知日	令和7年6月6日 (金)		
選考方法	面接・筆記試験		
選考会場の住所	札幌市西区琴似2条3丁目1-3 テオービル3階		
最寄駅	JR琴似駅から徒歩6分、 地下鉄琴似駅から徒歩3分	近隣に多数コインパーキング あります ご利用下さい	駐車場の有無 ☒ 無し ☐ 有り
訓練実施機関名	ASME株式会社	訓練コース説明会等	無料説明会実施! 令和7年 5月12日(月) 13:30~14:30 令和7年 5月20日(火) 10:30~11:30/13:30~14:30 令和7年 5月27日(火) 10:30~11:30/13:30~14:30 ★要予約:011-676-5858★ 上記以外のお日にちも個別に対応致します。まずはお電話下さい♪
訓練実施施設名	あずみ福祉カレッジ		
訓練実施施設の住所	〒063-0812 札幌市西区琴似2条3丁目1-3 テオービル3階		
TEL番号 (お問い合わせ先)	011-676-5858		
お問い合わせ担当者 (受付時間)	宇田川・菅原 (平日 10:00~17:00)		
最寄駅	JR琴似駅から徒歩6分、 地下鉄琴似駅から徒歩3分	実施施設までの地図 最寄駅から	上記地図参照 駐車場の有無 ☒ 無し ☐ 有り 近隣に多数コインパーキング あります ご利用下さい
職業訓練受講給付金	一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金(受講手当:月額10万円、通所手当)が支給されます。 詳しくは、住所を管轄するハローワークの担当窓口にお尋ねください。		

※教科書代等について、訓練開始前に就職等の理由により辞退された場合、当該教科書代等を負担いただく場合があります。
※資格取得修了に必要なカリキュラムを欠席された場合、1時間2,200円の補講費を頂く場合がございます。
※企業実習期間は、訓練施設内での訓練時間と異なり9時から17時となります。
※初任者研修の資格発効は期間中、初任者研修・実務者研修の資格証の発行は閉講式となります。

※新型コロナウイルス感染症対策のために講じている内容

- 健康状態のチェック
- 入り口等に消毒液の設置
- 手洗い場・トイレに石鹸の常備
- 手洗い及びマスク着用の方法の提示
- 共用部分及び共用物品の定期的な消毒
- マスク着用の徹底
- 常時の換気
- 空気清浄機の設置